

平成二十三年度

B&G海洋体験セミナー

青い海と美しい大地から学ぶ四泊五日の体験学習

8月7日(日)~11日(木)

生き物いっぱい沖なわ

田浦 大成

八月十日、一番楽しみにしていた沖なわ美ら海水族館に行きました。

美ら海水族館で印象に残っているのは、鮫博士という部屋と、巨大水そう、深海の魚、海ガメのコーナーです。鮫博士という部屋には、鮫のホルマリンづけや、化石、鮫のレプリカなど、鮫にまつわる物



右が田浦大成くん

がいっぱいありました。三十五mもある巨大水そうには、マンタがゆうゆうといたり、ジンベイザメが目の前に三匹来たりして、すごく迫力がありました。深海の魚のコーナーでは、ハマダイが近づいてきたので、すぐくすがた形がよく見えました。うしろにいたナガチカマスもよく見えました。海ガメのコーナーでは、海ガメの種類や海ガメの食べたゴミなどがてん示されていました。死んだ海ガメは、ビニールを食べていました。午後からは、シノーケリングもしました。海に入ると少し寒かったけれど、中にはいるとなれました。下にはサンゴが所々あり、青や黄色の熱帯魚もいました。オニヒトデがいたので、すぐおそろしくなりました。泳いでいると、イシナマコやパイプウニの間がいたりしました。パイプウニは、思った以上にとげが長かったです。途中で本部元気村の人がイシナマコを拾ってきてくれました。本当に石のように固まっています。

ぼくは、海ガメやマンタといった生き物も実さいに水中で見たかったです。

ぼくがこの体験で特に思ったことは、海にはたくさん生き物があるということです。それとゴミのことです。海

はつながっているので世界のみんなが海を大事にしなきゃいけないなあと思いました。そのままゴミの数がふえつづけると、生き物がぜつめつしてしまいかもしれないので、生き物を守るのだという意識をもたないといけないなあ実感しました。

B&G海洋体験セミナー

播磨 佑哉

ぼくが、このB&Gの海洋体験セミナーに申し込もうと思ったのは、友達がおうぼすると聞いたからです。沖なわは行った事がなかったし、ぼくは海が好きなので、このセミナーに参加したいと思いました。

沖なわに着いて、バスに乗って、ぼく達が泊まるマリナーピアオキナワに行きました。次の日は朝から海に行き、バナナボートやカヌーに乗りました。バナナボートは八人位で乗り、水上バイクみたいなやつに引っぱられて海を走りました。カヌーは二人でオ



イルをこぎました。歩くぐらいのスピードで進んで、力があるし、つかれました。イルカプログラムでは、イカダみたいなのに皆と乗り、イルカを見に行きました。こんなに近くで見るとは初めてでした。頭をなでてさわる事ができて、とてもかわいかったです。

三日目は、マングロープでのカヌー体験をしました。マングロープは初めて見たけど、わりと低くて、ぶつうの木とあまり変わらないと思いました。水は茶色ににごっていて、その上を、カヌーをこいで通りました。わりと力がいりました。四日目は、美ら海水族館でぼくの好きなジンベイザメが三匹もいました。海水浴場では、友達がナマコをとっていたし、

シノーケリングでは下にサンゴしゅうがあり、いろいろな色や形のサンゴがあり、きれいでした。この四泊五日の海洋体験セミナーで、いろいろな活動をして、きれいな海を守っていきたくと思いました。友達もできたし、とてもおもしろかったです。

海洋体験セミナーに行ってみて

山田 朔実

私は、海洋体験セミナーに行く前はものすごく不安で、このまま台風でもこないかなと思っていました。伊丹空港には、たくさんの方がいました。その中でも、楽しそうにしている子、私といっしょで不安そうにしている子、いろんな友達がいました。でも、飛行機に乗っている間に友達もできて、一気に不安もどこかに飛んで行きました。沖縄に着いて、バスで移動してホテルまで行きましたが、四十五分ほどバスがおくれたため、一日目の自己紹介は、次の日になりました。

二日目は、一日中、海での活動をしました。私は、バナナボートがおもしろかったです。カヌーは、少しつかれました。沖縄の海はすみきって、とて